

3分で読めて、売上げアップとビジネスに役立つ
アイデアとヒントとノウハウが満載！！
仕事と論語と蕎麦打ちが大好きな月本康寅がお届けする

たんぽぽ通信

営業先でトークがはずむと評判のビジネスレターです。
月本建設(株) 月本康寅 電話 086-275-0676

2016年6月号

■今月の仕事に役立つビジネスジョーク

『女性の買い物は長い！？』

小学校で、担任の先生が太郎くんに訊ねた。

「ねえ、太郎くん。

今日、家庭訪問に行きたいんだけど、お父さんとお母さん、
家には何時頃帰ってくるの？」

「えーっと、お父さんは会社に行っているので
ちゃんと夕方6時には家に帰ってきます。

お母さんは、スーパーに晩御飯のお買い物に行っているので
・・・いつ帰ってくるかわかりません。」



■今月の論語

『子、四を絶つ。意母く、必母く、固母く、我母し。』

孔子は四つのことを断ち切るようにとおっしゃった。自分の思いを通そうとしない。無理おし
しない。頑なににならない。我を張らない。という四つのことである。



お気に入りのことば

「外から自分を観る。
小さな自分が見える」

◆本紙は『^{つきもとやすのぶ}月本康寅』のビジネス情報レターです。

4つの資格のプロです。1級建築士・1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士・宅地建物取引士

月本建設株式会社 代表取締役 月本康寅 (愛称 つきちちゃん)

年齢：53歳 血液型：A型 星座：みずがめ座

生年月日：昭和38年1月22日 出身地：岡山県岡山市

現住所：岡山市中区四御神 通勤：鮎モドキが川沿いに車で！

好きな言葉：素直、和、元気！好きな映画：小さな恋のメロディ

趣味：蕎麦打ち、映画鑑賞、ゴルフ、カラオケ 家族：妻と長男(社会人)・長女(専門学校生
でたこ焼き県へ移住)・次女(小学生)と犬(ジャック)とハムスター(メロ)

プロフィール：岡山工業高校、九州産業大学建築学部を卒業後、(株)荒木組で現場監督の勉強を
させてもらい、3年半後に月本建設(株)に入社、一級建築士を取得して現在に至る。

FBで「月本康寅」を検索すると人間像が少しわかるかな！



■集客・営業・広告・販促に役立つ心理マーケティング

■『茨城大好き社長の三法良し』



茨城県
ibaraki

「酒井さ～ん、良いことを発見しましたよ～！」
電話の向こうから大～～～きな声が聞こえてきました。
その声の主は茨城県で婦人服店を展開するA社長。

(私)「A社長、なに、なにを発見したの？」
(A)「酒井さ～ん、店内に行政スペースを設けるんですよ～っ！」
・・・以下、A社長から伺った「**三方良しの商売のススメ**」です。

A社長は県内の行政機関に連絡をして県内の観光名所や特産品をPRするパンフレットを集めます。それらを店内に陳列し、さらに地元の手芸家、写真家、画家等の作品や地元の特産品や名物商品も一緒に展示して「茨城をPRするコーナー」を作るのだそうです。するとお客様にたいそう喜ばれるらしい。

A社長はなぜそんなことをするのか？
答え→「茨城が好きだから」

A社長は本当に茨城を愛しています。茨城が好きで好きでしょうがない。生まれは名古屋だけど今は茨城にどっぷり浸かっています。だから、お店で茨城をどんどんPRします。するとやって来るんだそうです。お客様だけじゃなくて、新聞社やTV局や雑誌社やラジオ局が・・・。

A社長曰く、「行政組織によってはその建物の中に県内のマスコミ関係者の詰所がある。その詰所には記事を投函するポストがある。そのポストには県内で実施される工事、祭事、記念式典、イベント情報等が投函される。県内の新聞社やTV局や雑誌社はその投函された記事の中から「ネタ」を拾っていく。だから、自店のこともこのポストに投函する。」とのこと。

当たり前ですが、茨城県内の新聞社やTV局や雑誌社は茨城が好きだし、茨城のネタを求めています。だから「茨城をPRするお店」に取材に来るのだそうです。

A社長曰く、
「**酒井さん、これが三方良しの商売です!**」
・・・お見事!!ですね。

●本記事は契約のうえ、ビジネス心理学講師・酒井とし夫さんが寄稿しています。

今月の強運 ランキング ベスト3

- 1位 六白金星 段取りがよければ実績に結びつく福德運。独立心の強い人は、新たな一面も開けそうです。一度決めたことにはほとんど挑戦しましょう。吉方位は南・東北方位です。
- 2位 八白土星 自分から学ぶ姿勢があれば苦勞してもその成果は大きい。物事の視点を変えるだけで素晴らしい発想が生まれます。吉方位は南方位です。
- 3位 五黄土星 物事は経験や知識を活かし、重要な問題は目上の人と相談して決定すれば、大難なく安泰です。吉方位は東南・南・西北方位です。

連絡先

リフォームを「頼んで良かった」と言われる会社です。

月本建設(株) 代表取締役 月本康寅

電話/086-275-0676 FAX/086-275-5267

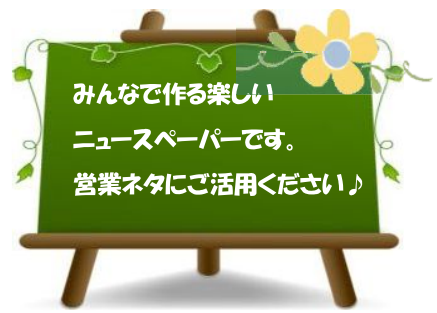
メール tsukimoto-cop@wind.ocn.ne.jp

ホームページ

月本建設

検索

コラムでコラボ



H.28 6月号(1) 発行:一級建築士 月本康寅

自分でできるメディカルチェック

便秘が改善する白湯の飲み方

白湯は、伝統的なインドの民間療法アーユルヴェーダの一つであり、全身の毒素を取り除き、身体のバランスを整える効果があるといわれています。

便秘解消としても有名です。

白湯は全身の毒素を浄化し、腸の動きを整えスムーズなお通じに役立つ飲み物と言われています。

食事中や食間(食後の約2時間後)などに、1日カップ4杯くらいを目安に飲むと頑固な便秘が改善するのだとか。

・ジンジャーパウダー

生姜を加熱乾燥して作られたジンジャーパウダーは、胃腸の血流を高めて身体を温める働きがあります。

冷房による冷えが気になる方は、積極的に摂りましょう!

・コリアンダー

一般的にはパウチと呼ばれています。コリアンダーには、胃の動きを整える働きがあるほか、腸内に溜まったガスを排出させる働きもあり、ガスが溜まって便秘がちな方におすすめです。

・岩塩+レモン

コロコロとした乾燥した便になってしまう便秘の方には、岩塩とレモン汁をチョイ足するのが効果的なんだとか。

また、レモンの香り成分「リモネン」には、気持ちをリラックスさせる働きがあります。腸の動きは副交感神経が司っていますから、リラックスすることも腸を活性化させるためには大切なのです。

白湯は水道水でも構いませんが、沸騰させることで濃度が高まってしまふ薬品もあるそうです。

できればミネラルウォーターで作る方がおすすめです。

チャレンジしてみたいかでしょうか。

最近の犯罪状況(その139)

岡山ではないですが保育園や幼稚園で現金などが盗まれる事件が昨年1月以降、約40件相次いでいることが分かりました。被害総額は約600万円相当に上っており、同一犯による連続窃盗の疑いもあるとみて捜査している。

職員室などに保管していた現金のほか、商品券がなくなっていたケースもあった。いずれも施設が無人的な夜間を狙い、窓ガラスを割るなどの手口だったという。

防犯カメラ・セキュリティ
システム設計・施工・保守

TEL: 0120-46-9406

株式会社シールド

専務取締役 本多高明



「6月病」の話

「5月病」は聞いたことがある人が多いのではないのでしょうか。

5月の連休明け頃に、おもに新入学の大学生の間で見られることから名付けられた心身の不調です。

ところが最近、特に社会人の場合、5月ではなく6月に同じような状態になる人が増えており、「6月病」と呼ばれて問題になっています。

そもそも「5月病」も「6月病」も正式な病名ではなく、医学的には適応障害と診断されます。

なぜ、6月に心身の不調を訴える人が増えているのでしょうか。

理由として考えられるのは、新人研修期間を長く取る企業が増えていることや、仕事のIT化・専門化などにより、ベテラン社員も4月からの様々な変化に慣れるのに時間がかかること。

その結果、ようやく慣れる6月に、たまった疲れやストレスが、心身の症状となって表れるのではないかとされています。

さらに6月は梅雨に入るなど気候が不安定なことも、心身のダルさの要因になります。

■ほぐゆる庵~relax&conditioning■

「移動巡回型施術院 ほぐゆる庵は出張専門の整体院です。痛みの原因から解決します!!!」
一度ご相談ください。

TEL: 080-6337-3315

オフィス ニコスコ 高野よしくに



「天」の命ずるままに生きれば何も不安はない

仏教もキリスト教も好きではない①

『論語と算盤』で知られるように、渋沢栄一は『論語』に対する信奉を繰り返して述べ、『論語』によって自己を高め、その精神を実業に生かしてきたことを明言している。

しかし宗教については「昔から宗教と名のつくものは一切嫌いである」とはっきりと述べている。キリスト教だけでなく、仏教も好きではないというのである。自分が信ずるのは儒教でいうところの「天」というものであって、常に孔子の天命観を自分の心として、実践してきたと述べている。そして孔子の天命観を示したものとして、渋沢は『論語』の中から次のような言葉を挙げる。

「天を怨みず、人を尤めず、下学して上達す。われを知る者はそれ天か」(天を怨むことなく、人をとがめることもせず、身近なところから学んで上達していく。私のことをわかってくれるのは天だ)

「天、徳をわれに生ず。桓魋それわれを如何」(天が自分の道を教えるという徳を与えたのだから、桓魋のような悪者に自分を殺すことなどできるわけではない)

「天何をか言うや、四時行われ、百物生ず。天何をか言うや。」(天は何も言わないけれども、春、夏、秋、冬の四季が順番に巡ってきて、そこから万物が生ずるではないか)

■「渋沢栄一 人生百訓 / 真の成功にいたる道」より抜粋